

 評価のポイント

CL-II. 看護実践能力：ケアする力

[21-2] 小児救急外来におけるトリアージの実際

最終スライドで示した「3名の小児患者の緊急度と対応」について、あなたは、リーダーのBさんと協力して対応する必要があります。当直の小児科医は病棟急変に対応中で、電話での相談は可能です。すぐ救急外来に来ることはできません。

この時、Aくん、Bちゃん、Cちゃん（父含む）に「誰が」、「どのように対応」しますか？対応の順番と方法を考えてみましょう。

トリアージは、緊急度を判断し、治療優先度を決定するだけでなく、トリアージから診療開始までの間の患者の緊急度に応じたマネージメントと、対応した患者家族への対応？が必要となります。

救急外来では、このような多重課題が発生することもありますので、あらかじめ、施設の背景を踏まえてシミュレーションし、連携、役割分担を検討しておく必要があります。